

金環日食が
よくわかる！

5月14日(月) 特別講座を開催します

「金環日食フェスティバル in 海老名」 ～金環日食フォーラム：金環日食と太陽系科学の最前線～

日時／ 5月14日(月)
18時10分開場

会場／文化会館大ホール

主催／市・市教育委員会・
海老名天文同好会「星の学校」・
日本スペースガード協会

募集要項

- ▶対象 市内在住・在勤・在学の方
- ▶定員 500人（市・市教育委員会主催分）
- ▶申し込み 往復はがきに、住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号・「特別講座参加」と明記し、〒243-0433河原口676-2 海老名市立歴史資料収蔵館へ。3月15日(木)必着。応募者多数の場合は抽選。

参加者全員に、太陽観測用ピンホール望遠鏡（ペーパークラフト）をプレゼントします。

【プログラム】

- 18時10分 開場／司会・藤田優一氏（声優）
18時40分 開会挨拶
18時50分 「金環日食」とスペースガード
～太陽の恵みを実感し地球を護（まも）ろう！～
高橋典嗣氏（日本スペースガード協会理事長）
19時10分 「はやぶさ2の挑戦・太陽系科学の最前線」
吉川 真氏（JAXAはやぶさ2プロジェクトマネージャー）
19時30分 「太陽科学の最前線」日江井榮二郎氏
（東京大学名誉教授、国立天文台名誉教授、元明星大学学長）
20時10分 座談会「日食と文化」
・田部一志氏（日本スペースガード協会理事）
・武部俊一氏（日本科学技術ジャーナリスト会議・会長、元朝日新聞科学部長）
・北尾浩一氏（星の伝承研究室）
・蛭川 立氏（明治大学准教授）
※都合により講師の変更がある場合があります。
20時50分 エンディング曲演奏「金環日食」／ピクチャーズ
21時00分 閉会の挨拶・閉会／白井正明氏
（日本スペースガード協会副理事長、弁護士）

黄金の指輪を
見逃すな！

5月21日(月) 金環日食を観測しよう



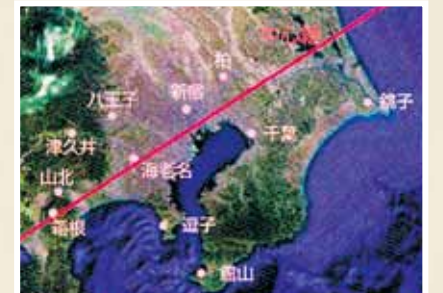
金環日食は、太陽・月・地球が一直線上に並んで太陽の中に月がすっぽりと入り、天空に黄金の指輪が浮かんでいるかのように見える天体現象です。

ことし5月21日の朝、海老名市でもこの金環日食を見ることができます。前回、海老名で金環日食が観測されたのは

173年前の1839（天保10）年9月8日で、次回に見る事ができるのは、なんと300年後の2312年4月8日となります。

世紀の天体ショーを自分のまちで見ることができる貴重な機会。あなたも金環日食を観察してみませんか？

金環帯の中心線が市内を通過



今回の金環日食は、鹿児島から四国、大阪、名古屋、東京までの太平洋側の各地で観測ができ、海老名市内を金環帯の中心線が通ります。

海老名市内の
接触時刻

日食の終了 ● 9時01分39秒

金環

7時31分18秒～36分22秒
(最大7時33分50秒)

日食の
はじまり ● 6時18分37秒



太陽の光はとても強く、直接見ると目を傷める危険があります。①太陽遮光板②日食グラス③太陽観測用ピンホール望遠鏡などを使って見るようにしましょう。

高橋先生に聞きました！

「小惑星Ebbina-えびな」を観測・発見した、NPO法人「日本スペースガード協会」理事長で、海老名天文同好会「星の学校」学長でもある高橋典嗣氏に、天体観測についてお聞きしました。高橋氏は東柏ヶ谷在住で、5月14日の特別講座でも講演をしていただきます。

Q. 天体観測に興味を持ったきっかけは

A. 小4の夏、自由研究の題材を探していたときに皆既月食が起こることを知り、課題にしました。その結果、作品が評価され、母親からご褒美に小さな天体望遠鏡を買って貰ったんです。それから、月や木星・金星などを観察しているうちに「宇宙」にのめりこんでいきました。

Q. 初めて金環日食を体験したのは

A. 中学生の時の星仲間28人と沖繩に行き、25年前初めて金環日食を体験しました。それまでに見たことのなかった自然現象に本当に驚きました。その後、皆既日食も体験し、それらの感動が私の人生観に大きく影響、太陽コロナの研究をすることになりました。

Q. 近隣のおすすめ観測スポットは

A. 気象条件にもよりますが、県内で天の川が見える場所に、丹沢の奥や山北町などが、海老名からも比較的行きやすいと思います。どこ、というよりも、星が見たくなったら海老名の空を見上げてもらうことが一番だと思います。

Q. 海老名の子供達にむけてメッセージをお願いします

A. 「Ebbina-えびな」と名前のついた小惑星が誕生したので、国際的というよりも宇宙的な、大きな視野を持つて物事を考えてもらいたいと思います。ぜひ海老名の小中学生から将来の宇宙時代を担う宇宙飛行士や宇宙科学の道に進む方が出てくれることを願っています。天体観測をきっかけに、理科や自然を大事にする心を育んでくれれば、と思います。



▲高橋典嗣氏